

ラマダ ン月の昼夜（パ ト2/2）：夜 の崇

:

明:ラマダ ン月におけるムスリムの生活の、典型的な一夜について。

目:[事崇 行 とその 実践の五ヶ条」 とその他の崇 行](#)

より: M. Abdulsalam (2010 IslamReligion.com)

ED3 May 2010

集日 03 May 2010

日没礼 の 、ムスリムは 宅して 食を けるか、あるいは夕食を るかします。しかし多くの人は、余り食べ ぎないようにします。というのもそれは、ラマダ ン月における信仰者の喜びである???????

の礼 という崇 行 の障害となり得るからです。この礼 は、日没の最 の痕 が消えた に行われる夜の礼 の直 、つまり日没の礼 の 一 半 に 始されます。

??????の礼 （深夜の合同礼 ）



タラ ウィ フの礼 は、集 で行われる特 礼 です。そして非常に く、一 から一 半ほど きます。タラ ウィ フの礼 はラマダ ン月に 行なわれ、そこにおいて多くの礼 先 者たちは、全クルア ンの朗 を みるのです。ムスリムは立ち、お辞 し、跪きつつ、主に祈ります。そしてあたかもそれがその で 示されているかのような感 を抱きながら、美しい声と共に朗 されるその章句に耳を けつつ、全クルア ンを耳にする 会を得るのです。また、有名な

朗 家がいるモスクほど早く 杯になってしまうため、人々は自分の 所を 保するために予定 刻よりも早くモスクに到着するようにします。あるモスクなどは、 々な町からやって来る千人以上もの参加者で一杯になります。 にそれは、ムスリムが丸一年待望していたイベントなのです。またタラ ウィ フの礼 は次の 言者ムハンマドの言 が示しているように、罪の赦しを意味します：

??

崇 者たちは礼 で朗 されるクルア ンに耳を澄まし、その意味を熟 するようにします。イマ ム（礼 の先 者）の声は、人々に大きな感 を与えます。神の祝福やご慈悲、そのご 、また忍耐 い信仰者のために用意されている天国について言及するクルア ンの章句や、はたまた地 の苦しみについて る章句を耳にして、人々が 咽を漏らすのを目にすることは珍しいことではありません。クルア ンは各 人に向けて りかける 示なのであり、ゆえに人々はそれを耳にする 、神が自分に直接 りかけているという感 を抱くのです。クルア ン朗 を くことで き上がってくる感情は、本当に 舌に尽くしがたく、何ものにも比べようのないものです。

タラ ウィ フの礼 の最 に、イマ ムと人々の集 は 手のひらをかざし、彼ら自身とムスリムのために神に祈ります。神に、罪の赦しや、信仰を 践するための力と 固さ、天国や病人の治 、既に亡き人々の罪の赦しなど、その他 世と来世に わる 々のよきことを祈るのです。また彼らは 判の日の からの救いと、その日の清算の安易さ、そして世界中の同胞の苦 が和らぐことなども祈 します。集 の大半が を流しつつ主に乞う光景を目にすることは、珍しいことではありません。タラ ウィ フの礼 はラマダ ン月のハイライトの一つであり、ムスリムに感 と廉直さを与える重要な役割を果たしているのです。

そしてタラ ウィ フの礼 の 、人々は 宅して夕食を ります。それから夜明け前の 食に早起きするため、就寝するのです。

ご の通り、ラマダ ン月には神へと捧げられる 々な の崇 行 があります。ラマダ ン月は、ムスリムがそこにおいてその生活 を神のご命令に 和したのものへと 革するための、トレーニング期 のようなものです。朝起床して、日中を通し、夜に至るまで、ムスリムは 々

ムスリムはラマダ ン月に、 の 大を望みつつ、みいつの夜を模索します。タラ ウィ フの 礼 からクルア ンの 、神への祈 や特 な任意の礼 などでもって、一 中崇 行 に やすのです。尚この（ラマダ ン月最 の10日 の）期 の夜には、夜明け前の食事の までおよそ1 半から 2 ほどく、特 な集 礼 がモスクで り行われます。この 期の夜 は崇 行 で活性化し、人々はみ いつの夜を神への崇 によって ごそうと、この10日 の夜を崇 行 に します。言者ムハンマ ドは、以下のように述べました：

??

ラマダ ン月は、赦しの月です。人々は、地 から救われる者となることを望みます：

??

こういった理由からラマダ ン月に人々は断食し、礼 し、至らなさを恩赦されて天国に 入ることの出来るよう、みいつの夜を模索するのです。

???（マッカへの小巡礼）

言者ムハンマドは、人々がラマダ ン月にカアバ神殿を し、小巡礼である を行なうことを励行しました。彼はこう言っています：



??

こうして、何百万もの人々は、小巡礼を行なうためにマッカへと集います。そして多 くの人はハッジの を 得し、かつ信仰者にとっての すべき であるカアバ神殿での礼 を 望みつつ、月の最 の10日 にやって来ます。そこではあらゆる文化と人 からなる、世界

中からやって来たムスリムたちと出会うことになります。そしてその全が、造主である主のご悦を得るために日中は断食し、夜には崇行に耽りつつ、この神な域に集めるのです。

赦しの月

前述した、ラマダンの月の々な崇行にする言者ムハンマドの多くの言は、その情け深さを意味しています。断食、タラウィフの礼、みいつの夜の礼など、全ては赦しを意味しているのです。

??

??

??

ラマダンは一般的に言って、地からの救の月なのです：

??

慈善の月

前述したように、人々は断食を解くための食事を他人に施し、まれない家族にはラマダンを過ごすに十分な食料を寄付しようと望みます。更に、人々はラマダンの月にはより前がよくなります。慈善行は一つの崇行となされ、神はそのをお与えになるからです。言者ムハンマドの教友の一人、イブンアッバースはこう言いました：

??

またラマダンの善行をやすため、あるムスリムたちは? (の[1])の支いをこの月に行ないます。

人的献身

イスラームには、一定期 モスクの中に留まって献身する、特 々な 崇 行 があります。その期 は一日 だったり、一 月 だったりしますが、いずれにしるその はクルア ンを朗 したり、神を 美したりすることに 念じます。これもまた、人生を神への崇 行 を中心としたものに 付けるための、一つのトレ ニングなのです。人は自らを日常のル チンから遮断し、神への崇 に 念することで、人生に 先 位をつけ、 世での生活をより の低いものとするこを学びます。言者ムハンマド（彼に神のご慈悲と祝福あれ）もまたラマダ ン月最 の10日 に、???????

と呼ばれるこの の崇 行 を 践していたものでした。彼はモスクの片隅にテントを り、そこに じこもって 々な の崇 行 に勤しんでいたのです。

世界中のムスリムが、この崇 行 を遂行しようとして、 や学校を れます。しかしそれは日常生活からのある の断 を伴うことの困 さゆえに、 行出来る者はごく限られています。それにも わらず、集 礼 の行なわれる大半のモスクでは、この崇 行 に 事する人々を目 にすることが出来ます。

ご のように、ラマダ ン月は世界中のムスリムにとって、非常に特 々な期 です。それは罪 深い者が神へと立ち返り、信仰者がその信仰心を新たなものとするための、崇 の月な のです。またそれは人が自分の人生を神の命令に沿ったものとし、そこにおいて神のご 足を追求するための、トレ ニング期 でもあります。またラマダ ン月は人が 造主との を 化し、 の崇 行 に加えて任意のそれを遂行することへと自らを づける 期でもあります。ラマダ ン月は何にも代え なく、その期 のムスリムの感情は 舌に尽くし いものとなります。そしてこのような理由から、言者ムハンマドの教友たちはラマダ ン月が到来する半年前からその祝福を味わうことを祈り、そしてそれが きた の半年 には、神に してそこにおける彼らの至らなさのお赦しを乞いました。私たちはこの祝福された月においてムスリムたちの 戒と礼 が受け入れられるよう、またムスリム以外の者たちもムスリムとしてラマダ ン月の断食を行うことが出来るよう、切に きを います。

Footnotes:

[1]

(<http://www.islamreligion.com/articles/46>)参照のこと。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/416>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。